

2025年度着地見込みについて

1. 着地見込みについて（2025年4月1日～2026年3月31日）

科 目	2025年度見込み	2024年度実績	増減	
営業収益	1,492百万円	1,462百万円	30.3百万円	+2.1%
営業費用	1,425百万円	1,410百万円	14.8百万円	+1.0%
営業損益	68百万円	52百万円	15.5百万円	+29.7%

- ・実績は百万円未満を四捨五入
- ・増減は十百万円未満を四捨五入

<営業収益>

旅客収入(+60百万円)の増、管理機構からの保守管理業務の受託収入(▲28百万円)の減
※機構受託収入の減は年間の修繕工事等の総額が昨年より少ないことによる

<営業費用>

人件費(+57百万円)の増、委託費(管理機構から受託した修繕業務に係る費用▲56百万円)の減、動力費(▲19百万円)の減、制服リニューアル(+13百万円)の増、その他(+20百万円)の増

<営業損益>

二種事業営業損益68百万円から法人税相当額約3割を控除し、残り約47百万円を管理機構への支払い金額として見込む。

※本着地見込みは、第3四半期決算確定後時点の着地見込みであり、管理機構への支払額は2月の収支確定後再度着地見込みを算出し年度内に管理機構へ支払う。

2. 輸送実績について（2025年4月1日～2026年1月31日）

種 別	2025年度実績	2024年度実績	2025年度増減		2019年度増減比
通勤定期	1,307,986人	1,297,023人	+10,963人	+0.8%	+4.8%
通学定期	1,538,850人	1,484,297人	+54,553人	+3.7%	+3.5%
定期計	2,846,836人	2,781,320人	+65,516人	+2.4%	+4.1%
定期外	1,379,703人	1,331,914人	+47,789人	+3.6%	△0.0%
合計	4,226,539人	4,113,234人	+113,305人	+2.8%	+2.7%

- ・定期は、通勤定期、通学定期、定期合計のすべてがコロナ前の乗車人員に回復。
特に八日市～近江八幡間の定期券の購入者が4月～1月の期間で1か月あたり前年比20数名程度増加。
(乗車人員に換算すると約16,600名程度増加)
 - ・定期外は、普通乗車券の利用者が増加しており、4月から9月まで対前年比で5.8%増加、特に八日市～近江八幡で6.3%増加。増加要因として、昨年度期間限定で発売した格安の1日フリー乗車券「ハッピーライドパス・1デイエンジョイパス」の効果が販売期間終了後も継続していることが考えられる。
- ※ハッピーライドパス・1デイエンジョイパス概要
発売期間：2024年10月25日～2025年1月13日
発売内容：金土日及び年末年始に利用できる1日フリー乗車券
発売価格：紙券 おとな400円、こども10円 / デジタル おとな350円、こども10円

会議資料

2026年3月1日(日)始発から 近江鉄道線のすべての駅でICOCAの利用をスタート



近江鉄道株式会社
2026年3月16日

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

近江鉄道線へのICOCA導入に伴う主な変更点

近江鉄道



- 1 紙のきっぷ、紙の定期券、回数券の発売を終了します……………[2ページ](#)
- 2 有人駅(4駅)に、整理券発行機を設置します……………[3ページ](#)
- 3 駅係員の配置を変更します……………[4ページ](#)
- 4 Web定期券購入サービス「iCONPASS(アイコンパス)」を導入します…[5ページ](#)
- 5 回数券廃止に伴う新サービス
WESTERポイント(チャージ専用)がはじまります……………[8ページ](#)
- 6 西日本エリア初
こども用ICOCAのご利用で、こども運賃を1乗車10円にします……………[9ページ](#)
- 7 企画乗車券のラインアップの見直しと
発売額の改定および発売方法を変更します……………[10ページ](#)

1 紙のきっぷ、紙の定期券、回数券の発売を終了します

近江鉄道

紙の乗車券の発売を終了いたします。
回数券については、取り扱いを終了いたします。

乗車券の種類	ICOCA導入後の取り扱い
きっぷ 	発売いたしません (紙のきっぷは終了いたします)
回数券 	発売いたしません (回数券は終了いたします)
定期券 	ICOCA定期券にて発売いたします (紙の定期券は終了いたします)
企画券 	Webやアプリにて発売いたします (紙の企画券は終了いたします)

Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

2

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

2 有人駅(4駅)に、整理券発行機を設置します

近江鉄道

ICOCAで乗降する場合



現金で乗降する場合



Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

3

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

3 駅係員の配置を変更します

駅係員の業務減少にともない、駅係員配置駅(有人駅)を見直いたします。

有人駅	営業時間
彦根駅	始発から終電まで
八日市駅	始発から終電まで
貴生川駅	平日 7:15~9:00 15:20~20:00 土休日 7:00~8:50 15:20~19:30
近江八幡駅	始発から終電まで

駅係員を時間帯配置していた以下の駅については、
2026年2月28日をもって駅係員の配置を終了いたしました。
米原駅・彦根口駅・高宮駅・愛知川駅・日野駅・水口駅・水口城南駅・スクリーン駅
新八日市駅・平田駅

4 Web定期券購入サービス 「iCONPASS(アイコンパス)」を導入します

駅窓口に行かなくても、Web上で定期券が購入できるサービスを開始いたします。

「iCONPASS(アイコンパス)」ならスマホ・PCから定期券を購入し
そのままご乗車いただけます。



購入

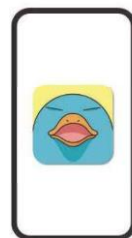
利用

登録したICOCAで
利用可能

- ICOCAの登録
- 定期券の申込
- 決済

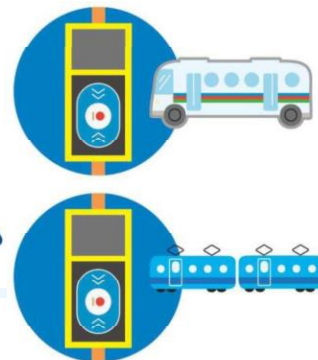
【決済方法】
クレジット決済(オンライン)
現金決済(コンビニ)

- 通学定期など
割引定期も購入可能！
- 窓口に並ばず購入可能！



ビッ
ッの
まま

モバイルICOCA
Apple PayのICOCA



購入も乗降も簡単！

4 Web定期券購入サービス 「iCONPASS(アイコンパス)」を導入します

近江鉄道



「iCONPASS(アイコンパス)」のポイント

- ① スマホやパソコンから定期券が購入できます
※お手持ちのICOCAを登録することで簡単にご利用できます。
※6時～22時の間に購入ができ、翌日からご利用可能です。
- ② 証明書をアップロードすることで通学定期券も購入できます
※使用開始日の14日前から3日前までに申し込み可能です。
※審査・承認まで最大48時間いただく場合があります。
- ③ クレジットカードでの決済とコンビニでの決済を選択できます
- ④ 定期券の新規発行だけでなく、継続発行や払いもどしもオンラインでできます
- ⑤ マイページから購入情報や履歴を確認でき、領収書も発行可能です
- ⑥ 複数の定期券を1枚のICOCAで利用できます
※JRなどの定期券は「iCONPASS(アイコンパス)」では購入することはできません。

Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

6

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

4 Web定期券購入サービス 「iCONPASS(アイコンパス)」を導入します

近江鉄道

1枚のICOCAに登録できる定期券の組み合わせ



「iCONPASS(アイコンパス)」の導入によって、「近江鉄道線と近江バス・湖国バス」「近江鉄道線と近江バス・湖国バス+JR線」など、複数の定期券が1枚のICOCAで利用できるようになります。

組み合わせ\ICOCA種別	近江鉄道有人駅窓口		WEB定期券販売サービス (iCONPASS)	
	ICOCAカード	モバイルICOCA	ICOCAカード	モバイルICOCA
近江鉄道線のみ	○	×	○	○
近江鉄道線+JR線	○	×	○	○
近江鉄道線+近江バス・湖国バス	×	×	○	○
近江鉄道線+JR線+近江バス・湖国バス	×	×	○	○

※「iCONPASS(アイコンパス)」でJR線の定期券は購入できません。
※近江鉄道の窓口(係員発行機)ではモバイルICOCAの取り扱いはありません。

Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

7

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

5 回数券廃止に伴う新サービス WESTERポイント(チャージ専用)がはじまります

近江鉄道

回数券の発売を終了するのに伴い、
回数利用割引をWESTERポイントで付与する制度に移行いたします。



近江鉄道の運賃としてICOCAをご利用の場合
利用月ごとに3,000円を超えるご利用額に対して
10%のWESTERポイントが付与されます

例:1か月に5,000円ご利用の場合

3,000円を超える2,000円に対して、10%相当となる200ポイントが付与されます。

Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

8

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

6 西日本エリア初 こども用ICOCAのご利用で こども運賃を1乗車10円にします

近江鉄道

こどもICOCAの利用者を対象に、
近江鉄道全線にて小児普通運賃を1乗車10円といたします。



こどもICOCA(記名式)
の購入が必須です

こどもICOCA販売駅(近江鉄道)

- ・彦根駅
- ・八日市駅
- ・貴生川駅
- ・近江八幡駅

小児運賃の対象年齢:小児が12歳となる年度の3月31日までの間

こどもICOCAは、JR西日本のICOCAエリア内の駅およびJR西日本の山陽新幹線・北陸新幹線の駅の「みどりの窓口」や「みどりの券売機プラス(オペレーター対応)」でもお買い求めいただけます。
詳しくはJR西日本のホームページ「ICOCA、こどもICOCAのご購入方法(<https://www.jr-odekake.net/icoca/purchase/icoca.html>)」をご確認ください。

Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

9

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

7 企画乗車券のラインアップの見直しと 発売額の改定および発売方法を変更します

近江鉄道

1デismイルチケット

近江鉄道全線が1日乗り降り自由の乗車券です。

- ICOCAでの利用も可能となります(iCONPASSで前日までに購入が必要となります)。
- 利用対象日を毎日に拡大いたします。
- 運賃を見直しいたします。
- 中高生用運賃(iCONPASSのみ対応)を新たに設定いたします。

	変 更 前	変 更 後
乗車券	紙乗車券 アプリ(RYDE PASS)	iCONPASS(ICOCAの場合) アプリ(RYDE PASS)
運賃 (アプリ) (ICOCA)	大 人 900円 小 児 450円	大 人 1,500円 中高生 1,000円 小 児 発売なし
運賃 (紙乗車券)	大 人 900円 小 児 450円	発売なし
対象日	金・土日祝	毎 日
発売期間	当日まで	当日まで ※
発売箇所 発売方法	有人駅・車内 アプリ(RYDE PASS)	iCONPASS(ICOCAの場合) アプリ(RYDE PASS)



※ iCONPASSでの発売はご乗車になる前日の22時までに手続きを完了していただく必要があります。
 中高生の場合は証明書類の審査・承認が必要なため、ご乗車になる3日前までに申請が必要となります。
 また、審査・承認まで最大48時間いただく場合があります。

Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

10

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

7 企画乗車券のラインアップの見直しと 発売額の改定および発売方法を変更します

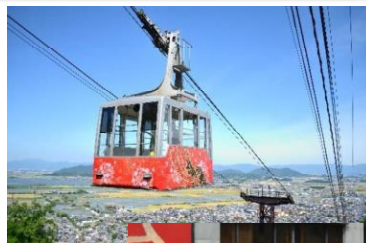
近江鉄道

お〜み満喫パス

近江鉄道線全線と近江バス・湖国バス、八幡山ロープウェーが
1日乗り降り自由となるフリー乗車券です。

- アプリ(RYDE PASS)のみの販売となります。
- 運賃を見直しいたします。
- 八幡山ロープウェーのご利用が往復でのご利用から1日乗り放題になりました。

	変 更 前	変 更 後
乗車券	紙乗車券	※紙乗車券は廃止 アプリ(RYDE PASS)
運賃 (アプリ)	紙乗車券のみ発売	大 人 2,500円
運賃 (紙乗車券)	大 人 2,000円	発売しない
発売日	毎 日	毎 日
発売期間	当日まで	当日まで
発売箇所 発売方法	有人駅 近江トラベル各支店	アプリ(RYDE PASS)



Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

11

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

7 企画乗車券のラインアップの見直しと 発売額の改定および発売方法を変更します

近江鉄道

びわこ京阪奈線フリーきっぷ

近江鉄道線全線と信楽高原鐵道線全線が1日乗り降り自由となるフリー乗車券です。

- アプリ(RYDE PASS)のみの販売となります。
- 運賃を見直いたします。
- 事前に購入いただけるようになります。

	変更前	変更後
乗車券	紙乗車券 アプリ(RYDE PASS)	※紙乗車券は廃止 アプリ(RYDE PASS)
運賃 (アプリ)	大人 1,050円 小児 530円	大人 2,000円 小児 発売なし
運賃 (紙乗車券)	大人 1,050円 小児 530円	発売しない
発売日	土日祝	土日祝
発売期間	当日のみ発売	当日まで
発売箇所 発売方法	有人駅 アプリ(RYDE PASS)	アプリ(RYDE PASS)



Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

12

7 企画乗車券のラインアップの見直しと 発売額の改定および発売方法を変更します

近江鉄道

高齢者向け会員証「シルバーパス」

近江鉄道線沿線の5市5町に在住する満65歳以上の方を対象とした乗車パスです。
事前の利用申し込みで、1乗車100円で利用できます。
現在お持ちのシルバーパスは、2026年4月1日以降も更新手続きなしで、
そのままご利用いただけます。

- 沿線5市5町在住者向けのパスは有人駅窓口にて登録を受け付けいたします。
利用方法も従来どおりです。
- 沿線外向けのパスのご利用は2026年3月末で一旦終了いたします。
(次年度以降の実施方法等は現在検討中です)



Copyright © OHMI Railway Co. Ltd. All Rights Reserved

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

13

テーマ

こどもICOCA1乗車10円を活用したファミリー層向け企画

【背景】

- ・ 令和 8 年 3 月 1 日から近江鉄道線にICOCAが導入されました。
- ・ こどもICOCAをご利用の方は 1 乗車10円で近江鉄道線に乗車いただけます。
- ・ こどもICOCAを活用し、家族全員でご参加いただけるような企画について、アイデアをお出してください。

●MEMO

滋賀デスティネーションキャンペーン の取組内容について

1

◇デスティネーションキャンペーン（DC）とは

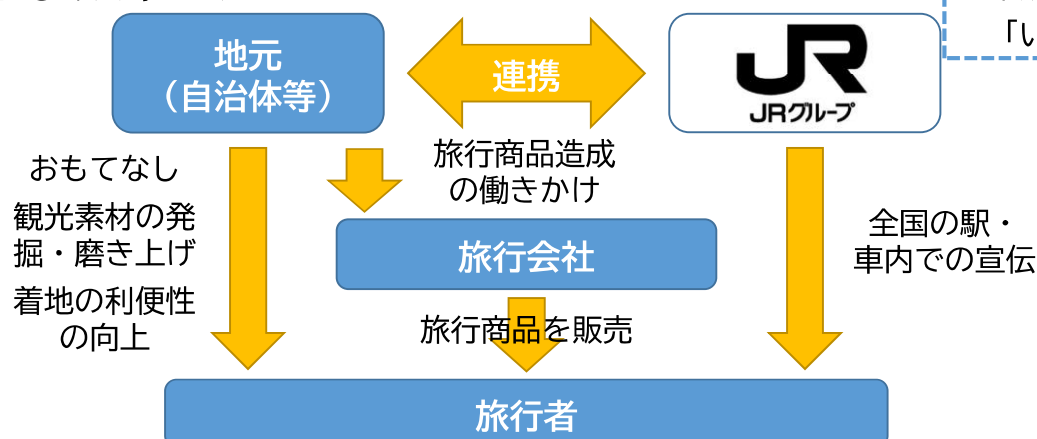
来年の大河ドラマや安土城築城450年、彦根城世界遺産に向けて滋賀への注目度が高まる好機に合わせ、**令和9年秋（10月～12月）に滋賀県でDCを開催**

デスティネーションキャンペーン（DC）とは

JRグループ6社（北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州）と自治体等が協働で全国から誘客を図る大型の観光キャンペーン（翌年度の同時期）

- ・四半期ごとに目的地を設定して実施
- ・開催の前年度をプレDC、翌年度をアフターDCとして、3か年に集中的な誘客を図る（一部アフターDCを実施しないケースもあり）

■DCのスキーム



<過去の滋賀県の開催状況>

- ・平成12年1月～3月
「いち、にの、さん、滋賀」



2

◇主要イベント

① 全国宣伝販売促進会議（令和8年11月上旬予定）

全国の旅行会社、マスコミ関係者等を対象にキャンペーン期間中の観光素材についての紹介や観光地視察を行い、旅行商品の造成・販売を働きかける。

兵庫DC（R5夏）
R4.9.26 参加者数340名



茨城DC（R5秋）
R4.11.9 参加者数300名



福岡・大分DC（R6春）
R5.5.10 参加者数477名



福島DC（R8春）
R7.5.28 参加者数600名



② オープニングイベント（令和9年10月予定）

キャンペーンのスタートとして、旅行者への歓迎イベント等を開催し、滋賀県の魅力を発信する。

兵庫DC（R5夏）
R5.7.1神戸駅
銀河特別運行セレモニー



茨城DC（R5秋）
R5.10.1水戸駅
タレントを招いてのセレモニー



福岡・大分DC（R6春）
R6.4.6博多駅前広場・大分駅
タレントを招いてのセレモニー



大阪DC（R7春）
R7.3.30大阪ステーションシティ
ステージイベントを交えたセレモニー



3

◇スケジュールと準備

・DC組織づくり
・素材磨き上げ

・全国宣伝販売促進会議
・商品造成、プロモーション

DC本番
(10月～12月)

・アフターDC
・レガシー創出

	R7年度 (2025年度)			R8年度 (2026年度)			R9年度 (2027年度)			R10年度 (2028年度)		
	～7月	～11月	～3月	～7月	～11月	～3月	～7月	～11月	～3月	～7月	～11月	～3月
滋賀県DC 実行委員会	設立総会	総会	総会	総会	総会	総会	総会	総会	総会	総会	総会	総会
主要事業	実行委員会の下部組織 開催						DC本番 10～12月 オープニングイベント	DC本番の 振り返り	アフター DC	DCの 総括 レガシー 創出		
環境整備	おもてなし体制構築 → 県民総参加のおもてなし						誘客活動 おもてなし					
商品造成・ 販売 (旅行会社等)	観光素材の磨き						ブラッシュアップ					
	商品造成 → 販売											

4

◇各主体の取組

主体：ＪＲ

JRの電車や駅を活用した企画・広報の展開

- (例)
- ・「瑞風等」特別列車の運行
 - ・特別デジタルフリー切符の発売
 - ・駅や電車内での告知広告
 - ・グループ会社と連携した企画 など

主体：県

DCに向けた機運醸成と県域での周遊の促進

- (例)
- ・オープニングセレモニー、特別イベントの開催
 - ・旅行会社、大都市圏等へのプロモーション
 - ・県域でのスタンプラリー等の周遊企画
 - ・各主体への支援 など

主体：市町、関係団体

各地域の盛り上げと地域の観光素材の開発・磨き上げ・発信

- (例)
- ・地域の観光情報の発信
 - ・新しい地域コンテンツ(地元食材の活用、体験等)の開発
 - ・各地域の特別イベントの開催
 - ・事業者等への支援 など

主体：交通事業者

相互連携による企画の展開と周遊時の2次交通の充実

- (例)
- ・相互利用パス等の発売
 - ・水上交通を活用した特別プランの販売
 - ・他エリアの私鉄との連携(タイアップ広報等)
 - ・2次交通の充実化(EV、電動自転車等のレンタル促進) など

主体：観光事業者

特別感のあるコンテンツづくりと受入体制(インバウンド含む)の充実

- (例)
- ・高付加価値、滋賀ならではのコンテンツの提供(特別拝観、湖上観光等)
 - ・朝型夜型観光・特別宿泊プラン(体験付き、特別食、鉄道活用プラン等)の提供
 - ・インバウンド発信強化・海外エージェント招聘 など

主体：県民、企業

各地域でのおもてなし

- (例)
- ・各地域でのおもてなし
 - ・地域住民との連携
 - ・特別列車の駅でのお出迎え など

5

◇目標の設定

コロナ前過去最高だった令和元年の入込客数5,404万人を約20%上乘せし、
年間入込客数6,000万人を目指す。

■期間中（10月～12月）の誘客目標

延べ観光入込客数

令和元年10～12月 1,321万人 ➡ **令和9年10～12月 1,600万人**

延べ宿泊客数

令和元年10～12月 98万人 ➡ **令和9年10～12月 120万人**

観光消費額

令和元年10～12月 494億円 ➡ **令和9年10～12月 600億円**

6

滋賀デスティネーションキャンペーン（2026プレ期間／沿線地域への誘客コンテンツ）

近江鉄道(株)

多賀大社 表参道絵馬通りまち歩きパス ※多賀観光協会と連携依頼予定

延命長寿と縁結び、金運アップの神として古くから全国的な信仰を集め、「お多賀さん」と親しまれている多賀大社の参道とその周辺で、散策と食べ歩きが楽しめるパス。多賀大社では杓子絵馬付き、近江鉄道(電車)が全線2日間乗り降り自由。

<多賀大社エリアでのおもてなし> パス1枚につき1回
多賀大社にて、杓子絵馬を1つご用意
鳥居前の「多賀や」にて、糸切り餅2個入りをご用意
歴史ある酒蔵「多賀」にて地酒の試飲
駅前の「くにうみ醸造所」にてクラフトビール1杯付 など

<近江鉄道線>
近江鉄道(電車) 全線2日間乗り降り自由

【設定期間】
2026年10月1日～12月31日 ※年末は除外日となります。

【想定販売価格】
おひとり様(1枚) 2,900円～3,900円

上記は計画段階であり、販売価格はイメージです。また、
参画・仕入交渉前のため、内容変更となる場合があります。



滋賀デスティネーションキャンペーン（2026プレ期間／沿線地域への誘客コンテンツ）

近江鉄道(株)

たろぼうパワーチャージパス ※東近江市観光協会との共同企画として実施

勝利と幸福を授ける神様として古くから信仰を集め、パワースポットとしても人気の太郎坊宮で、世界にひとつだけのおまもりづくり体験と、天空カフェのお抹茶セット付きのパス。お参りのあとは、日本三大和牛の一つ「近江牛」を味わえるお食事チケットでさらにパワーチャージ！近江鉄道(電車)が全線2日間乗り降り自由。

<太郎坊宮エリアでのおもてなし> パス1枚につき1回
太郎坊宮の天空カフェで「お抹茶セット」付き
近江牛の専門店「万葉」のお食事券2,000円分付き など

<近江鉄道線>
近江鉄道(電車) 全線2日間乗り降り自由

【設定期間】
2026年10月1日～12月31日 ※年末は除外日あり

【予定販売価格】
おひとり様(1枚) 4,900円～5,900円

上記は計画段階であり、販売価格はイメージです。また、
参画・仕入交渉前のため、内容変更となる場合があります。



近江鉄道(株)

湖東路酒蔵めぐりパス ※各市町観光協会と連携依頼予定

近江鉄道沿線に点在する歴史ある酒蔵をめぐり、試飲や買い物などを楽しめるパス。豊郷町・愛荘町・多賀町・東近江市等の酒蔵にて展開予定。近江鉄道（電車）が全線2日間乗り降り自由。

＜湖東路エリアでのおもてなし＞ パス1枚につき1回
各酒蔵にて近江の地酒の試飲
お買い物等に使えるクーポン付き など

＜近江鉄道線＞
近江鉄道（電車） 全線2日間乗り降り自由

【設定期間】
2026年10月1日～12月31日 ※年末は除外日あり

【予定販売価格】
おひとり様(1枚) 4,900円～5,900円



上記は計画段階であり、販売価格はイメージです。また、参画・仕入交渉前のため、内容変更となる場合があります。

みなさんとの意見交換 ②

テーマ

県外からの誘客促進について

【背景】

- ・ J R 6 社が現地の自治体や旅行会社などと協力し、地域の新たな魅力を発信・誘客する国内最大級の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」に、27年ぶりに滋賀県が選ばれました。
- ・ 令和9年10月～12月に本番、前年の令和8年にプレキャンペーン、翌年の令和10年にアフターキャンペーンが実施され、J Rだけでなく地域鉄道・バス・タクシー等も一体となって取り組みを実施する予定です。
- ・ デスティネーションキャンペーン期間中・期間終了後も含め、県外からの誘客を促進するためのアイデアをお出してください。

●MEMO

鉄道・バス・観光分野における地域活性化を目的として、連携協定を締結しており、2026年1月21日に学生による研究発表会を近江鉄道本社にて開催



■出席者

- ・滋賀大学: データサイエンス学部・1ゼミ 経済学部・2ゼミ (計15名※教員除く)
- ・近江鉄道: 取締役・監査役・鉄道部部長・子会社代表(計12名)
- ・滋賀県 : 交通戦略課(計2名)
- ・WEB : 1社・4市町
- ・取 材 : 新聞社(計3社)

1

発表①「新規乗客獲得に向けて ～対数線形モデルを用いた予測と提案～」

近江鉄道

データサイエンス学部: 姫野ゼミ
発表者: 1名

目的	・定期外乗客の増加を狙い、主要指標に基づく需要予測と施策提案
分析の 枠組み	・駅別の乗降人員、人口、所得、運賃、自家用車保有台数などを用いて 需要を予測。予測値と実績値の乖離を精査。
研究に 基づく 提案	・JR・バス主要乗換駅における接続の強化 ・スクリーン駅の就業時間に合わせたダイヤ編成の見直し ・予測より利用者が少ない駅(米原、ひこね芹川、水口石橋、河辺の森) は、周辺人口や65歳以上人口の状況を踏まえ、高齢者ニーズ対応や アクセス改善を検討。

2

発表②近江鉄道日野駅舎内「なないろ」の事例分析
～駅を拠点とした地域活性化モデル～

近江鉄道

経済学部:岡本ゼミ

発表者:5名

目的	・日野駅舎内のコミュニティスペースなないろを事例に、駅を起点とする地域活性化モデルの有効性を検証 ※その知見を基に、他の地方鉄道にも応用可能なモデルを提言 ・なないろの提供価値が利用者の行動・意識に与える影響を整理
分析の枠組み	・来訪者調査 アンケート(5日間・113名、平均年齢54.5歳、60～70代約68%)、滞在時間(中央値60分)、満足度。 ・運営モデル評価 日替わり店長制・設備自由利用、出店料
研究に基づく提案	・駅の社会的結節点化で来訪・滞在・再訪が促進、駅の目的地化が進行(「なないろ」の利用者の54.4%が鉄道線を利用)。 ・満足・再利用・推奨の主要因は「外観(駅舎内)」「商品・サービス」「人的交流」。 ・運賃への直接効果は限定的ではあるものの、集客・清潔性・安全性・地域愛着などの間接効果は大きい。 ・高齢者は来訪・滞在中の中心、学生は高頻度利用の中心。両層重視が横展開の鍵。 ・横展開は公民連携で出店料低廉・設備無償貸与により他駅でも展開可能。

3

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

発表③観光客行動分析による乗車機会創出

近江鉄道

経済学部:陳ゼミ

発表者:9名

目的	・近江鉄道において、観光目的の乗車機会を創出する可能性を探り、観光客の行動パターンやニーズを理解すること
分析の枠組み	・現状分析:3C分析とSWOT分析 歴史資産と定時性が強み。設備老朽化と観光アクセス弱く競争力低下。体験企画とSNSで観光拡大の要素あり。 ・来訪者調査 声かけおよびQR配布によるアンケート(2日間・199名、観光目的131件)
研究に基づく提案	・回遊性は低く、単一スポット目的の乗車が多い／景色・アクセス満足度は高い ・初回利用者は出発1週間以上前に計画する傾向があり、利用頻度に寄与 ※早期計画促進が新規獲得に有効 ・性別・年代で計画性・過ごし方が異なる(女性＝体験参加志向、男性＝のんびり滞在志向) 施策例:20代女性向け体験型イベント 昭和レトロジャーニー(豊郷を核にSNS訴求) 施策例:50～60代男性向け 開運のち美酒。大人の鉄道旅(太郎坊宮・多賀大社+地酒)

4

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

発表①「新規乗客獲得に向けて ～対数線形モデルを用いた予測と提案～」

分析結果から示された需要ギャップや接続・ダイヤ編成の課題は、従来の肌感覚と一致しており、それが初めて数値として裏付けられた。

分析に際しては、駅周辺の商業施設や病院などの立地が利用動向に影響している可能性が高く、今後の連携の中でそうした要因も含めて解明していく。

発表②近江鉄道日野駅舎内「なないろ」の事例分析～駅を拠点とした地域活性化モデル～

「なないろ」が駅舎自体の集客力を高め、駅の清潔性・安全性の向上や地域への愛着醸成に資することが、アンケート分析から示された。これは各駅が今後目指すべき方向性を示すものであり、何が有効か、どのように展開すべきかを継続的に分析・検証していく必要がある。併せて、自治体と鉄道事業者で連携し、駅の活性化を進めることで、地域の活性化につなげていく。

発表③観光客行動分析による乗車機会創出

観光客の動向について、今回が初めての調査であり、顧客動向を把握することができた。

ご提案いただいた施策については検証を行い、実装の可能性を探る。

併せて、PDCAを継続的に回せるよう、必要なデータ取得を含めた仕組みの構築を進める。

次年度の研究は、新たな学生で行われます。

※テーマは新たな学生が決めるため、今年度のテーマを継続することや、弊社として上記提案内容を取り組むことが決定したものではありません。

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

5

みなさんとの意見交換 ③

テーマ

今後、近江鉄道線の活性化に向けて学生に研究してほしいテーマ

【背景】

- ・令和7年5月に近江鉄道(株)と滋賀大学が連携協定を締結し、学生による公共交通を軸とした地域活性化に向けた調査研究を進めています。
- ・今後、近江鉄道線の活性化に向けて学生に研究してほしいテーマについて、アイデアをお出してください。

●MEMO

目 次

- ① 国スポ・障スポ滋賀2025 観戦応援事業
- ② 近江鉄道グループ にぎわいづくりDAY『ガチャフェス2025』
- ③ 鉄印帳 近畿エリア版・鉄印の発売
- ④ 台湾鉄路 姉妹駅協定締結5周年記念企画
- ⑤ 一畑電車コラボ(グッズ発売／イベント出展)
- ⑥ 滋賀県×西武ホールディングス包括的連携協定締結一周年記念
- ⑦ 近江鉄道沿線企業意見交換会

※今回ご紹介する利用促進実績は、「近江鉄道沿線地域交通計画」に基づく、近江鉄道沿線自治体・鉄道事業者による利用促進・利便性向上の令和7年度取組実績のうちの一部です。
全体については、別添一覧のとおりです。

① 国スポ・障スポ 滋賀2025 観戦応援事業

近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会

◎シルバーパス対象者拡大

1 対 象 近江鉄道沿線5市5町以外の滋賀県内在住者で65歳以上の方
(令和8年3月31日までに65歳になる方も含む)

2 運 賃 1乗車につき100円

3 実 施

○ WEB申込(令和7年9月1日～10月31日)

○ 顔写真付きパス画像の発行

○ パス使用可能期間 引き渡し後～令和8年3月31日まで

※近江鉄道沿線5市5町在住の満65歳以上の方は、従来通り、
駅窓口で申請を受け付け、紙のパスを発行



●実施結果

登録件数 200件 (令和7年9月1日～令和7年10月31日)

利用実績 228人 (令和7年9月1日～令和8年1月31日)

※利用終期:令和8年3月31日 ※有人駅降車人員のみカウント

① 国スポ・障スポ 滋賀2025 観戦応援事業

◎中高生向け観戦応援乗車券 配布

1 概 要 中高生を対象に 国スポ・障スポ開催日に利用できる乗車券4枚付きのチラシ を配布

2 運 賃 1乗車につき100円(乗車券1枚あたり)
※ 降車時に乗車券1枚と100円を支払う

3 利用可能日

国スポ・障スポ大会開催日 計29日間

4 対象人数

中学校・義務教育学校 40,302人

高等学校 37,286人

特別支援学校(中・高) 1,614人

その他(中等教育・各種) 224人

計 79,426人

●利用可能日 計29日間

- ・会期前：9/6(土)～9/15(月)
- ・会期前：9/21(日)～9/25(木)
- ・国スポ：9/28(日)～10/8(水)
- ・障スポ：10/25(土)～10/27(月)



●実施結果 **利用枚数 1,861枚** (9月：397枚、10月：1,464枚)

① 国スポ・障スポ滋賀2025 観戦応援事業

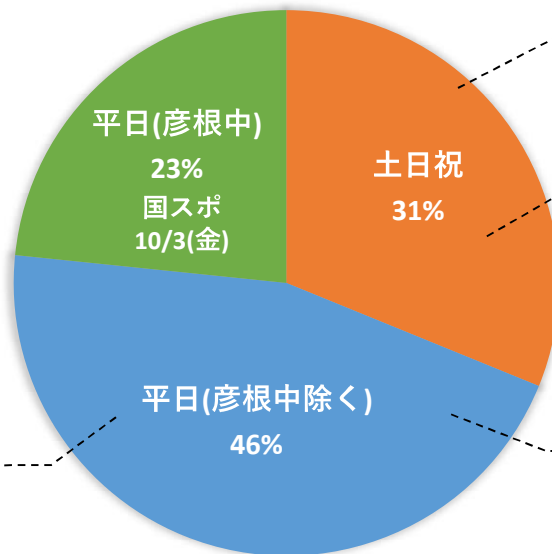
◎利用可能日:29日間

- ・平日 17日間
- ・土日祝 12日間

◎会期前・国スポ・障スポ

- ・会期前 15日間
- ・国スポ 11日間
- ・障スポ 3日間

乗車日(平日／土日祝日)



・中学校 : 13.0%
・高等学校 : 17.0%
・特別支援学校 : 0.8%
・未記入・不明 : 0.3%

・会期前 : 12.3%
・国スポ : 14.0%
・障スポ : 4.9%

・中学校 : 7.3%
・高等学校 : 36.6%
・特別支援学校 : 0.0%
・未記入・不明 : 1.6%

・会期前 : 2.0%
・国スポ : 65.7%
・障スポ : 1.1%

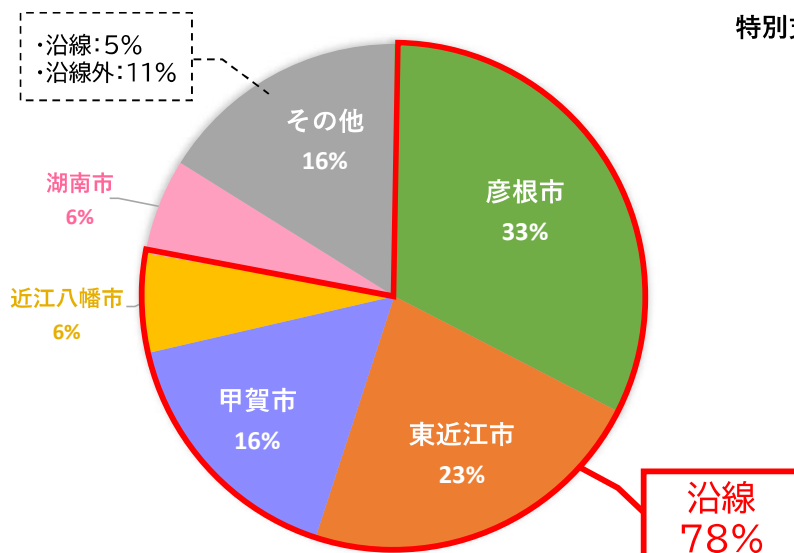
- ・平日利用の割合が多く、彦根中学校以外は、個人または少数単位でまとまったの利用であった。
- ・中学生は土日祝日で利用が目立った。(彦根中学校を除く)

※彦根市立彦根中学校「長距離遠足」での利用について

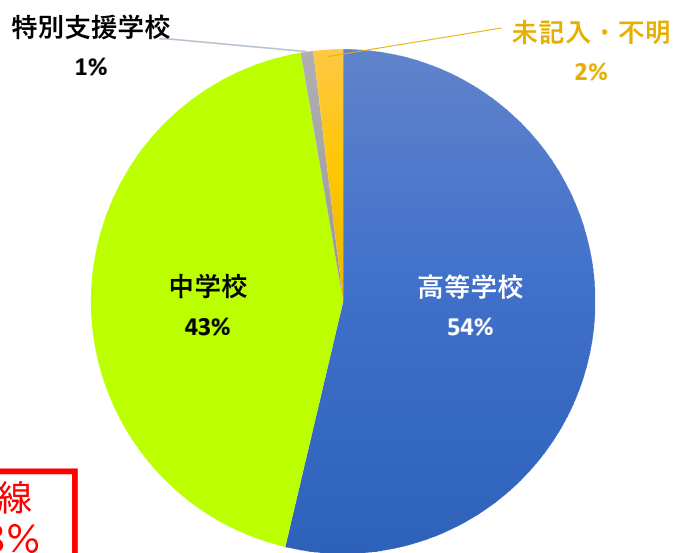
当該中学校では、公共交通と徒歩を組み合わせた「長距離遠足」を実施しており、今年度は、学校最寄りの「高宮駅」から「フジテック前駅」まで近江鉄道に乗り、降車後、彦根の平和堂HATOスタジアムまで徒歩で移動し、国スポ会場を見学。(利用日:10月3日(金) 利用枚数:435枚 参加:3学年)

① 国スポ・障スポ滋賀2025 観戦応援事業

学校所在地別

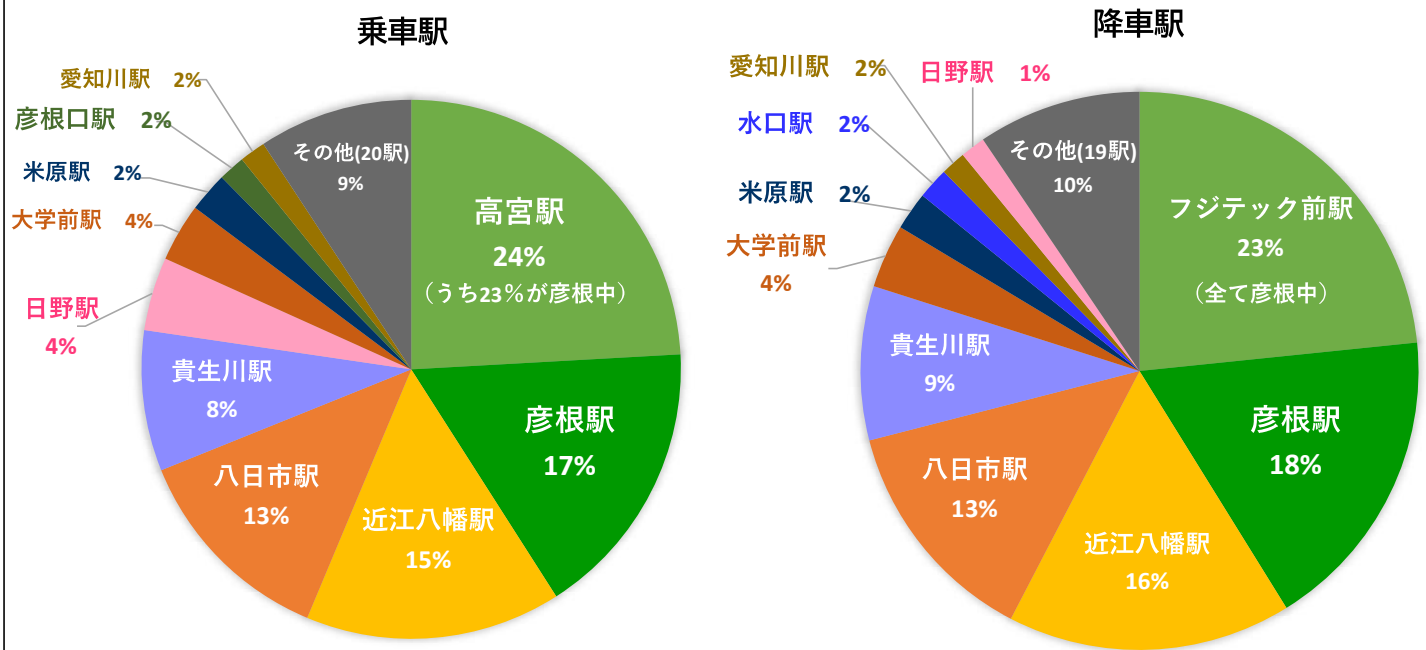


校種別



- ・近江鉄道沿線の市町に立地する学校の学生の利用が約8割
- ・高校生の利用が最も多く、過半数を占める
- ・県内19市町のうち、17市町の学校の生徒が利用

① 国スポ・障スポ滋賀2025 観戦応援事業



- ・乗車・降車ともにJRとの接続駅の利用がメイン
- ・大学前駅は、競技会場が駅に近いことから、通常時よりも利用者が増えたものと推測される。

① 国スポ・障スポ滋賀2025 観戦応援事業

◎総括

- ① 沿線市町以外にお住まいの方に向けた利用促進は**利用目的とセットで提案することが重要**
- ② 中学生だけで鉄道を利用し遠方に行くことを心配される家庭もあり、中学生に対する利用促進策を実施する場合は**鉄道を利用する際の目的や同伴者等にも十分配慮**することが必要
- ③ 中学校、高等学校等に対し、遠足や校外活動等における**団体利用をPR**することが必要
- ④ 1デismイルチケットの中高生の運賃は1000円とほぼ据え置きとなり、販売日が毎日販売へと拡大されたことから、**中高生に対して平日の鉄道利用も含め新たなチケットを広く周知・宣伝**することが必要

② 近江鉄道グループ にぎわいづくりDAY 『ガチャフェス2025』

近江鉄道(株)

【当日参加人数】2025年 24,140名 前年比+4,949名 (2024年 19,191名)

【目的】

- ▶ 沿線や駅前のにぎわいをつくる
- ▶ 沿線の魅力を発信し誘客を図る
- ▶ 乗車機会の創出
- ▶ 近江鉄道沿線(滋賀県)を、でかけたいと想える場所へ。

【内容】

- ① 近江鉄道線 おとな1日100円で乗り放題、こども無料
近江鉄道グループのバス、ロープウェイ、船こども運賃無料
- ② 沿線団体による「地域イベント」の開催
- ③ 沿線団体による「テーマイベント」の開催(飲食、こども向け)

【開催日】

2025年10月12日(日) 始発～終電

【地域イベント】

24駅 51会場初出展の地域団体 9イベント

【近江鉄道主催イベント】

- ・「ガチャフェス&近江鉄道グループ」グッズ販売イベント
- ・はたらくるま大集合! in武佐
- ・船長体験(@オーミマリン彦根港)
- ・クイズde駅ビンゴ
- ・ヘッドマークコンテスト
- ・車内アナウンス体験

【次回開催】

2026年10月11日(日)



③ 鉄印帳 近畿エリア版・鉄印の発売

近江鉄道(株)

【目的】

鉄印をきっかけに今まで近江鉄道にご縁がなかった「潜在層」の乗車を促し、将来的なファンの獲得を目指す。

また、鉄印の数やデザイン、値段は各社で決定できるため、今後の営業施策として継続的な活用を図る。

【内容】

鉄印帳近畿エリア版・鉄印3種(彦根駅・八日市駅・近江八幡駅)の発売

【発売金額】

鉄印帳 1,800円
鉄印 各 300円
デジタル鉄印 各 550円

【実施日時】

2025年12月12日(金)始発より発売開始

【発売数】

鉄印帳174冊
鉄印は563枚(八日市169/近江八幡182/彦根212)
※1月31日時点



鉄印帳近畿エリア版



鉄印(彦根駅)



鉄印(八日市駅)



鉄印(近江八幡駅)

④ 台湾鐵路 姉妹駅協定締結5周年記念企画

近江鉄道(株)

【目的】

将来的な台湾と日本の相互誘客数増加のため、台湾鉄道との関係性強化および姉妹駅協定に対する世間の認知度をアップさせる。

【内容】

台湾鉄道 萬華駅と近江鉄道 多賀大社前駅の姉妹駅協定締結5周年を記念し、下記の企画を実施した。

2025年11月4日(火)～11月30日(日)

①多賀大社前駅台湾風装飾



②台湾風装飾電車運行



③近江鉄道ミュージアム 記念入場券配布



④2025年10月12日(日)台湾茶体験イベント



⑤2025年11月9日(日)姉妹駅協定締結5周年記念式典



⑤ 一畑電車コラボ（グッズ発売/イベント出展）

近江鉄道(株)

【目的】

- ・相互の地域での電車やキャラクターの知名度向上・ファン層拡大による相互送客活性化
- ・コラボグッズ発売、コラボイベント実施など、新たなビジネス機会の創出

【実施日時】

2025年12月12日(金)始発より発売開始

【内容】

①コラボグッズの発売(鉄道イベント、八日市駅、通販にて販売)



ハンドタオル(税込600円)
発売数:74枚(2026年1月31日時点)

クリアファイル(税込300円)
発売数:153枚(2026年1月31日時点)

②一畑電車主催イベント「一畑電車駅サイトまつり」への出展(2025年10月26日(日))

コラボグッズおよび自社グッズの発売により、近江鉄道をPR。

滋賀県のPRのため、ひこにゃん・しまねっこととの着ぐるみステージに駅長がちゃんが登場。



島根県キャラクター「しまねっこと」とのステージ



彦根市キャラクター「ひこにゃん」とのステージ



グッズ販売の様子

⑥ 滋賀県×西武ホールディングス包括的連携協定締結一周年記念

近江鉄道(株)

①滋賀県×「52席の至福」コラボ

【目的】

首都圏のお客さまに西武鉄道で運行する「52席の至福」にて、滋賀県出身のシェフ布山 純志氏による監修のもと、滋賀県産食材をふんだんに使用した特別メニューを提供。
滋賀県に訪れたいと感じていただける機運を醸成する。

【内容】

近江鴨や近江牛、赤こんにゃく、日野菜などの滋賀県の特産品をコース料理にて提供。

車内では滋賀の地酒を楽しめるほか、観光PRを実施。

【料金】

昼(ランチ):15,000円 夜(ディナー):18,000円

【運行期間】

2026年1月～3月(土・日・祝日運行)

運行日数:27日



西武 旅するレストラン 「52席の至福」



ランチコース



ディナーコース

⑥ 滋賀県×西武ホールディングス包括的連携協定締結一周年記念

②滋賀県物産会

【目的】

「52席の至福」始発駅・終着駅にて滋賀県物産会を実施
滋賀県の特産品販売によるPRを図る。

【内容】

滋賀県の特産品販売・観光PR(実施:ここ滋賀)

【実施日時】

2026年1月17日(土)・18日(日) 場所:池袋駅地下イベントスペース
2月 7日(土)・ 8日(日) 場所:西武新宿駅構内イベントスペース
3月 7日(土)・ 8日(日) 場所:西武新宿駅構内イベントスペース

③「52席の至福」×滋賀県回遊スタンプラリー

【目的】

首都圏から滋賀県への回遊政策として実施、誘客を図る。

【内容】

西武鉄道とここ滋賀、近江鉄道がコラボし、スタンプラリーを実施。
スタンプの獲得数により賞品をプレゼント

【実施期間】

2026年1月10日(土)～5月6日(水)



1/17,18 池袋駅での物産会の様子



⑦ 近江鉄道沿線企業意見交換会

近江鉄道(株)

【目 的】

近江鉄道沿線に立地する事業所を巻き込み、滋賀県・沿線市町とともに利用促進に向けた意見交換を行うことで、地域一体となった公共交通利用拡大の機運醸成を目指す。

- ①企業と当社が一体となり、沿線の活性化について具体策を検討する
- ②各企業の課題や従業員満足度の向上のためにできることを考える
- ③地域を盛り上げる仲間として連携を図り、パートナーシップを構築する

【日 時】 2025年7月17日(木) 15:00-17:10

【会 場】 八日市コミュニティセンター

【テーマ】 各社が取り組む地域貢献について

【結 果】

参加者数・参加企業数:14社20名+7自治体11名 計21団体31名

新規参加企業:3社 参加者満足度:4.15/5点 取材誘致:2社

※2025年7月実施分は2024年度実施計画のもの

【日 時】 2026年2月20日(金) 14:30-16:30

【会 場】 彦根勤労福祉会館

【テーマ】 地域活性化と130周年事業について/地酒電車の試乗会

【結 果】

参加者数・参加企業数:9社13名+2自治体4名 計11団体17名

※ご意見等の詳細は集約中



⑦ 近江鉄道沿線企業意見交換会

【得られたご意見① 今回の意見交換会での気づきや発見/一部抜粋】

※25年7月17日実施分

- ・地域に目を向けるには**子ども向けが有効**と気づいた
- ・**地域企業と行政、近江鉄道との連携で何かできる**気がしました
- ・どの企業も地域に対して一定の愛着と貢献を考えておられること
- ・各企業が**地域とのつながりを求めている**ことが分かった
- ・似たような課題を持つ会社と連携した取り組みができると良いと思った

【得られたご意見② 各社が公共交通利用をより進めるために必要なこと/一部抜粋】

- ・今回のように**定期的な顔合わせによる交流機会の確保**
- ・ノーマイカーデーなどを検討する、近江鉄道と各社総務部との連携と合理的な判断
- ・**移動型地域貢献活動の企画**
- ・**運賃の定額化や交通系カード導入等によるハード面の整備**

【得られたご意見③ これはできそう！やりたい！と思った具体的なプラン/一部抜粋】

- ・ノーマイカーデーに**沿線飲食店の割引サービス**
- ・近江鉄道と企業との協働による採用(人材獲得)ツアー
- ・**地域の子どもの工場見学会やスタンプラリー、スポーツ大会など**
- ・利用者にポイント付与とステージプログラムで利用者が増かも
- ・工場見学限定フリーきっぷや愛のリタクシー的なバスやタクシー

得られたご意見のキーワードは「こども向け」「交流機会」「移動型の活動」であった。

目次

・ 京都丹後鉄道×近江鉄道 コラボレーション企画

・ 多賀大社表参道絵馬通りまち歩きパス

・ たろぼうパワーチャージパス

・ 湖東路酒蔵めぐりパス

滋賀デスティネーションキャンペーン（2026プレ期間事業）として紹介済

※今回ご紹介する利用促進実績は、「近江鉄道沿線地域公共交通計画」に基づく、近江鉄道沿線自治体・鉄道事業者による利用促進・利便性向上の令和8年度取組計画のうちの一部です。全体については、別添一覧のとおりです。

京都丹後鉄道×近江鉄道 コラボレーション企画

近江鉄道(株)

【目 的】

地域鉄道各社との連携事業の推進によって、当社が中心となってアライアンスを形成し、国内各地でのPRと、それによる沿線地域への誘客とともに収益基盤の構築を目指す。京都丹後鉄道の「丹後くろまつ号」のモーニングコースにおいて、丹後と近江のつながりを想起できる料理やスイーツを提供する。

今回は提案した沿線地域の食材から、甲賀市の銘茶「朝宮茶」と東近江市の地酒を採用いただいた。あわせて話題性の創出と相互誘客に向けてのプロモーションを実施。

【運行日】 2026年4-9月の金・土・日曜と祝日 計86日間運行 ※8/16を除く

【時 刻】 福知山10:08発→天橋立11:51着（モーニングコース）

【提供数】 1日24席×86日＝全運行日満席の場合2,064席

【販売額】 おひとりさま7,000円

<PR素材>

甲賀市の銘茶「朝宮茶」（かたぎ古香園）
東近江市の地酒「喜楽長」（喜多酒造）

【目 標】

参加者数:2,000名

参加者満足度:4.5／5点



令和7年度 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 事業実績見込み

1 会議の開催

区 分	月 日	内 容 等
協議会	R8. 3. 16 [第16回]	・ 近江鉄道株式会社2025年度着地見込み ・ 近江鉄道線へのＩＣＯＣＡ導入 ・ 滋賀デスティネーションキャンペーン ・ 近江鉄道株式会社と滋賀大学の連携協定に基づく研究成果 ・ 近江鉄道沿線市町および鉄道事業者による利用促進等の「令和7年度取組実績」および「令和8年度取組計画」 ・ 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会「令和7年度事業実績見込み・収支決算見込み」および「令和8年度事業計画(案)・収支予算(案)」
担当課長 会議	R7. 4. 30 R7. 6. 2 R7. 7. 31 R7. 10. 24 R7. 11. 26 R8. 1. 27 R8. 2. 17	「近江鉄道沿線地域公共交通計画」の推進に係る協議・調整等

2 国スポ・障スポ滋賀 2025 観戦応援事業の実施

近江鉄道線の利用を促進するため、国スポ・障スポ滋賀 2025 開催に合わせ、県内中高生向け観戦応援乗車券の配布、シルバーパスの対象者の県域拡大を実施した。

中高生向け観戦応援乗車券

1乗車100円で近江鉄道全線に乗車できる乗車券4枚が付いたチラシを、**県内の中高生**に配付！

- 学校から生徒に配付
- 大会開催日に利用可能

乗車券4枚 →



シルバーパス対象者全県拡大

1乗車100円で近江鉄道全線に乗車できる**シルバーパス**を、**県内の近江鉄道沿線外在住の方**にも発行！

- WEB申込
- 顔写真付きパス画像の発行
- 有効期間中何度でも利用可能



令和 7 年度 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 収支決算見込み

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	500,000	500,000	0	県負担金
			500,000	500,000	0	市町負担金
2 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,486,000	1,495,026	9,026	
計			2,486,000	2,495,026	9,026	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	600,000	300,000	△ 300,000	協議会の運営
	2 事務費	2 事務費	100,000	10,000	△ 90,000	振込手数料等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	1,500,000	148,500	△ 1,351,500	国スポ・障スポ滋賀2025滋賀観戦応援事業
3 予備費	1 予備費	1 予備費	286,000	0	△ 286,000	
計			2,486,000	458,500	△ 2,027,500	歳入決算額—歳出決算額 =2,036,526円を令和8年度へ繰越

令和8年度 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 事業計画（案）

近江鉄道線の運営は、公有民営方式による上下分離体制となり、近江鉄道株式会社は鉄道の安全運行および利用者サービスの向上に努め、一般社団法人近江鉄道線管理機構は鉄道施設等の維持管理を実施している。

当協議会は近江鉄道線の利用促進および利便性・サービス向上のあり方について議論するとともに、地域公共交通計画および鉄道事業再構築実施計画の進捗管理ならびに評価を実施する。

1 会議の開催

- ① 協議会：2回程度開催
- ② 幹事会、担当課長会議等：必要に応じて開催

2 鉄道の利用促進および沿線地域のにぎわい創出

2027年秋（10月～12月）にJRグループによる大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」が滋賀県で開催されることとなり、その「プレキャンペーン」が2026年秋に実施されることに合わせ、利用者の更なる増加を目指し、近江鉄道株式会社および一般社団法人近江鉄道線管理機構との連携により利用促進および沿線地域のにぎわい創出に係る事業を実施する。

令和8年度 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会収支予算(案)

1. 歳入予算

(単位：千円)

款	項	目	予算額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	500	県負担金
			500	市町負担金
2 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	2,036	令和7年度より
合 計			3,036	

2. 歳出予算

(単位：千円)

款	項	目	予算額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	600	協議会の運営
	2 事務費	2 事務費	100	振込手数料・物品購入等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	500	JRデスティネーションプレ キャンペーン関連事業
3 予備費	1 予備費	1 予備費	1,836	予備費
合計			3,036	

※予備費1,836千円について

令和9年度または令和10年度に社会資本総合整備計画の次期計画策定を予定しており、予備費1,836千円は当該計画の策定に必要な調査業務に活用する予定です。

(参考)

「社会資本総合整備計画」とは、国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施しようとするときに、地方公共団体等が作成し国に提出する計画です。近江鉄道線再構築事業においては、令和6年度～令和10年度の計画を策定済みであり、近江鉄道線の鉄道施設の整備や車両更新に交付金を活用しています。

令和 8 年度事業計画及び収支予算
(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで)

1 令和 8 年度の方針

令和 8 年度は、近江鉄道線が公有民営方式による上下分離の運行形態へ移行し、三年目となります。上下分離後は、より一層安定した近江鉄道線の安全輸送ができるよう取り組んできましたが、鉄道施設の老朽化による計画外の設備故障が多発する中、物価高騰による工事費の上昇など、施設・設備の計画的な更新について様々な課題が見えてきました。このような状況ではありますが、引き続き第二種鉄道事業者の近江鉄道株式会社、滋賀県及び沿線自治体と協議・連携しながら一つ一つの課題を解決し、「安全の確保」を第一に沿線地域のまちづくりに貢献できるよう、次の事業に取り組みます。

2 事業概要

(1) 輸送の安全

ア 職員意識の徹底

「安全の確保」は何よりも優先されることを認識し、一般社団法人近江鉄道線管理機構安全管理規程、安全方針及び安全重点施策に基づき取組みを進めるとともに、自然災害や重大事故及び想定される非常事態に対し、令和 7 年度策定の危機管理マニュアルを活用し危機管理体制を構築します。

また、内部監査を実施することで、安全管理体制の構築・改善における取組の適合性及び有効性の確認を行います。

イ コミュニケーションの強化

情報共有及び情報発信することの重要性を認識し、情報展開を確実に行うため、第二種鉄道事業者の近江鉄道株式会社と安全推進会議を毎月開催し、より連携を強化するとともに、安全輸送に係る重大な情報は滋賀県及び沿線自治体へ速やかに報告し、情報共有します。

ウ 施設・設備の計画的更新

鉄道事業再構築実施計画の設備投資計画及び修繕計画を基本として、鉄道施設の更新を行うとともに輸送障害やインシデントによる計画外の損傷・摩耗が判明した箇所についても早急に対応します。

(2) 適切な工事の執行と財源確保

- ア 設備投資等の工事の発注において、令和7年度末に更新した令和8年度及び令和9年度入札参加有資格者名簿を基に、多くの鉄道関係事業者を入札に参加させることにより、競争性を働かせ透明性を確保しながら、コスト削減の効果を最大限に生かします。
- イ 工事内容を充実させるため、国の動向を注視しながら国庫補助金を有効に活用します。
- ウ 近江鉄道株式会社技術課との定期会議を月1回以上実施し、工事の進捗状況の報告と確認を行い、円滑な連携体制を維持・強化します。

(3) 鉄道事業再構築実施計画における実施施策の取組

- ア 大阪大学先導的学際研究機構との先進的技術を活用した実証実験において、引き続き環境及び情報提供を行い、鉄道設備点検の標準化に向けた取組を行います。
- イ 近江鉄道200形（ドクターガチャコン）に搭載したカメラで撮影したAI解析データを活用し、近江鉄道株式会社が行う保守管理業務の負担軽減に向けた取組を進めます。
- ウ 令和7年度末に導入したICOCAの利用動向を注視し、円滑な運用が継続されているか状況把握に努め、近江鉄道株式会社と連携しながら、利用促進を図ります。
- エ 2027年秋に滋賀県で開催されるデスティネーションキャンペーンに向けて、近江鉄道株式会社及び沿線自治体と連携し、誘客を図ります。
- オ 観光及び貸切列車の導入調査・研究を近江鉄道株式会社と連携し、進めます。

(4) 関係会議の開催

- ・社員総会
- ・理事会
- ・構成団体担当部長会議及び構成団体担当課長会議
- ・安全推進会議
- ・契約審査委員会

(一社) 近江鉄道線管理機構 令和8年度収支予算

1 歳入

(単位：円)

科目	予算	前年度予算	増減額	備考
補助金及び負担金	1,795,987,000	1,737,431,000	58,556,000	国、県、市町からの補助金及び負担金
雑収入	48,140,089	40,167,600	7,972,489	利益分・利息等
繰入金	12,000,000	24,000,000	-12,000,000	鉄道車両整備基金から
繰越金	11,438,911	7,624,400	3,814,511	前年度繰越金
計	1,867,566,000	1,809,223,000	58,343,000	

2 歳出

(単位：円)

科目	予算	前年度予算	増減額	備考
設備投資費	952,650,000	1,108,588,000	-155,938,000	鉄道施設等の更新等
修繕費	128,480,000	15,400,000	113,080,000	トロリー線更新等
保守管理費	533,825,000	447,410,000	86,415,000	鉄道施設等の維持管理等
人件費	47,697,000	47,687,000	10,000	職員等人件費等
諸経費	204,914,000	190,138,000	14,776,000	機構運営事務費、諸税等
計	1,867,566,000	1,809,223,000	58,343,000	

地域公共交通の経営実態調査報告と抜本的改革の必要性の高まり

～ 表面的な回復の裏に潜む「路線の消滅」～

(一財)地域公共交通総合研究所 代表理事 小嶋光信

コロナ禍以降の運賃値上げにより、経営数値上は一時的な回復が見られるものの、実態は旅客の減少と深刻な運転手不足による路線廃止が加速しており、地域公共交通はかつてない危機に瀕しています。今こそ、付け焼刃ではない抜本的な改革が必要です。

1. 調査の概要

第 10 回目となる本経営実態調査は、コロナ禍を乗り越え、一見小康状態にあると見られる地域公共交通の「真の実態」を浮き彫りにすることを目的としました。

- ・ 対象：全国のバス、民営鉄道、旅客船事業の各業界団体に加盟する 1,065 社
- ・ 回答：184 社(回答率 17.3%)
- ・ 新要素：記述式回答による実態把握の深掘りに加え日本銀行短観と同様の拡散指数(DI: Diffusion Index)方式を用い、足元および先行きの業況を数値化した「公共交通 DI」を新たに導入しました。

2. 調査で判明した 3 つの重要事実

アンケートの結果、半数以上の事業者が運賃改定を実施し、表面上の収支は改善傾向にあります。しかし、その内実を紐解くと以下の深刻な課題が浮き彫りとなりました。

1. 利用者の未回復：輸送人員はコロナ禍前の水準まで戻っていない。
2. 三重苦の深刻化：「慢性的な赤字体質」「人手不足」「路線の維持困難」という 3 点は、以前よりも厳しさを増している。
3. 独自インデックスによる業況悪化の可視化：日銀短観(運輸・郵便部門)では業況判断 DI が横ばい～堅調な水準で推移している一方、公共交通に特化した今回の調査結果では、業況判断および従業員不足感が極めて悪い数値を示した。

3. 加速する路線廃止の推移

現在、交通空白地域が社会問題化していますが、それ以上に「赤字体質の常態化」「2024 年問題（残業規制）」「運転手の高齢化」が維持の限界を招いています。

- ・ 2022 年度：1,598km バス路線減少(コロナ禍による影響)
- ・ 2023 年度：2,496km 同 (運転手不足の深刻化により前年度の 1.5 倍超)
- ・ 2024 年度：2,500km 同 (予測／2024 年問題の開始)
- ・ 2025 年度：高止まり継続と予測 同 (高齢化・大量退職による維持限界)

※2022 年度、2023 年度路線廃止距離は国土交通省自動車局調べ

4. 抜本的改革の必要性の高まり

昨年、私は(一財)運輸総合研究所会長とともに、当時の国交大臣および総理大臣に対し運輸総研でまとめた「地域公共交通の革新案(緊急提言)」を提出しました。しかし、政局の変動もあり、十分な社会的インパクトを与えるには至りませんでした。

現在、地域交通法の一部改正も議論されていますが、現状の危機は個別事案への対処で解決できるレベルではありません。

- ・ ビジネスモデルの転換：事業者の声にも「財源・補助」への改革が数多く寄せられています。赤字体質を前提とした補助金制度に加え、「公設民営」や「公設民託」など経営努力すれば黒字化する制度へ移行すべきです。
- ・ 売上高は増加していますが「運賃改定」に依存しています。運賃改定にも上限が存在します。そのためにも早急な構造見直しが必要なことは明らかなです。
- ・ 法体系の抜本改正：交通政策基本法に則り、道路運送法をはじめとする交通関連法規を根底から見直す必要があります。
- ・ 社会的インフラとしての再定義：公共交通は損益だけで存廃を決めるものではなく、国民の QOL(生活の質)を支える基盤です。

5. 将来に向けた財源確保と国家安全保障

暫定税率等の財源から 2,000 億円程度を確保することで、現状の維持に留まらない「公共交通先進国」への転換が可能です。バリアフリー化、EV 化、自動運転、キャッシュレス対応、全国ネットワークの DX 化を強力に推進すべきです。

また、有事の際の「兵站(ロジスティクス)」を支えるのは民間の交通網です。公共交通の維持は、国の安全保障に直結する緊急の国家的課題であるという認識が、今こそ国に求められています。

以 上